

2022 年度学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度の学会賞・学会功労賞・奨励賞・女性 Analyst 賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、10 月末日までに所属支部の学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞・女性 Analyst 賞候補者推薦委員会あてに、推薦理由書 {A4 判 (縦に使用) 用紙にワードプロセッサを用いて 1,200 字以内} に文献リストと候補者の略歴を添えて、文書及び電子ファイルの双方にて、お申し出ください。

『学会賞規程』

- 第 1 条 本会に学会賞 (以下本賞という) を設け、本会の正会員にして分析化学に関する貴重な研究をなし、その業績を本会論文誌及びその他の論文誌に発表した者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。但し、学会功労賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 3 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において学会賞受賞講演を行う。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会 (以下支部推薦委員会という) を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
<以下省略>

『学会功労賞規程』

- 第 1 条 本会に学会功労賞 (以下本賞という) を設け、本会の正会員にして日本分析化学会及び分析化学の発展に多大な貢献をなした者で、受賞の年の 1 月 1 日現在、30 年間以上引き続き本会会員であり、満 55 歳以上の者にこれを贈呈する。但し、学会賞受賞者及び技術功績賞受賞者は受賞できない。又、同一年度の学会賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第 2 条 本賞の贈呈は、毎年 5 件以内とする。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 5 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会 (以下支部推薦委員会という) を設ける。
- 第 6 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 7 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
<以下省略>
- [注記] 学会功労賞は、次のような業績が対象となります。
- (1) 本会の発展に対する功績、(2) 分析化学の教育における功績、(3) 分析化学の国際交流における功績、(4) 本会の本部・支部の役員としての功績、(5) 本会の各種委員会・研究懇談会における功績、(7) 本会の本部・支部事業等における功績、(8) その他分析化学による社会的功績

『奨励賞規程』

- 第 1 条 本会に奨励賞 (以下本賞という) を設け、本会の正会員にして受賞選考の時期までになされた分析化学に関する研究が独創的であり、将来を期待させる研究者で、受賞の年の 4 月 1 日現在で満 38 歳以下の者に、女性もしくは企業に所属する者については受賞の年の 4 月 1 日現在で満 45 歳以下の者に贈呈する。
- ② 研究業績は、本会論文誌又はその他の論文誌、及び特許等の知的財産を対象とし、いずれも公表されたものでなければならない。
- ③ 受賞の基礎となる研究業績が共同研究の場合は、主たる研究者について適用する。
- 第 2 条 本賞は、毎年 5 件以内とする。但し、大学及び公的研究機関に所属する者については 4 件以内とする。1 件以上は企業に所属するものに授与することが望ましい。
- 第 3 条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第 4 条 本賞を受けた者は、年会において奨励賞受賞講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。
- 第 5 条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7 号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第 6 条 支部長は、各支部ごとに学会賞・学会功労賞・技術功績賞・奨励賞候補者推薦委員会 (以下支部推薦委員会という) を設ける。
- 第 7 条 会員は、その所属する支部推薦委員会に 10 月末日までに候補者を推薦することができる。
- 第 8 条 候補者の推薦に当たっては、所属支部の範囲に拘泥せず、全国的視野において行う。
<以下省略>

『女性 Analyst 賞 規程』

- 第1条 本会に女性 Analyst 賞（以下本賞という）を設け、本会会員、非会員にかかわらず、分析化学に関する優秀な業績をあげた女性研究者、女性技術開発者あるいは女性企業経営者に、これを贈呈する。但し、学会賞、学会功労賞、技術功績賞受賞者は、受賞できない。また、同年度の学会賞、学会功労賞及び技術功績賞の受賞候補者となることはできない。
- 第2条 本賞の贈呈は原則として毎年2件以内とする。
- 第3条 本賞は賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第4条 本賞を受けた者は、年会において女性 Analyst 賞受賞講演を行う。
- 第5条 会長は、各支部長、研究懇談会委員長並びに本会女性研究者ネットワークに推薦を依頼する。
- 第6条 推薦者は、1月末日までに推薦書、推薦理由書、履歴書及び説明資料を会長に提出する。
- 第7条 本賞候補者の選考は、女性 Analyst 賞審査委員会（以下審査委員会という）において行う。
- <以下省略>

2022 年度技術功績賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度の技術功績賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

日本分析化学会会員で、標記候補者の推薦を希望される方は、下記の規程を参照のうえ、所属支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者にお申し出ください。

『技術功績賞 規程』

- 第1条 本会に技術功績賞（以下本賞という）を設け、本会会員にして分析技術の向上、あるいは、分析技術による社会的貢献に関し、業績の著しい者の中から、特に優秀なる者にこれを贈呈する。本賞は、本会正会員を中心とするグループに贈呈することもできる。但し、学会賞受賞者及び学会功労賞受賞者は受賞できない。又、同年度の学会賞及び学会功労賞の受賞候補者となることはできない。
- 第2条 本賞の贈呈は、毎年3件以内とする。
- 第3条 本賞は、賞状及び賞牌とし、年会において贈呈する。
- 第4条 本賞を受けた者（グループにおいてはその中心となる者）は、年会において技術功績賞受賞講演を行う。
- 第5条 会長は、各支部長に推薦を依頼するほか、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。
- 第6条 会員は、候補者を所属支部の支部長又は団体会員代表者に推薦することができる。
- 第7条 支部長又は団体会員（維持会員、特別会員及び公益会員）代表者は、候補者を会長に推薦する。
- 第8条 候補者の推薦に際しては、次の書類、正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。
- a) 推薦書 [所定の用紙]、b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なものはそれぞれ2枚以内で作成すること）、c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙]、d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]

<以下省略>

[注記]

- 1) 推薦書の団体会員代表者は、本会に登録されている代表者名を記入してください（代表者を変更される場合は、あらかじめ変更届を提出してください）。
- 2) 所定の推薦書類を入用の場合は、返信用封筒（切手120円添付）を同封のうえ、下記技術功績賞係あてにお申し出ください。なお、電子ファイルをご希望の場合は shomu@jsac.or.jp へご連絡ください。
- 3) 推薦書類提出期限：2022年1月末日（郵送の場合は、当日消印のあるものまで受理します）。なお、推薦理由書が規程〔上記第8条b〕の書式、枚数〕に従っていない場合は受理しません。
- 4) 推薦書類提出先：〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 公益社団法人日本分析化学会技術功績賞係〔電話：03-3490-3351〕

2022 年度先端分析技術賞候補者推薦について

日本分析化学会は、2022 年度先端分析技術賞受賞候補者の推薦を受け付けております。

標記候補者の推薦を希望される方は下記の規程を参照のうえ、10 月末日までに日本分析化学会のいずれかの支部の支部長または研究懇談会の委員長並びに（一社）日本分析機器工業会専務理事（JAIMA 機器開発賞）あてにお申し出ください。

『先端分析技術賞 規程』

- 第1条 本会に先端分析技術賞（以下、本賞という）を設け、先端的分析技術開発（機器開発、分析・評価技術開発、分析用新規物質の開発、など）や実用化において、優秀なる業績と展開性を示した個人あるいはグループにこれを贈呈する。
- 第2条 本賞は、（一社）日本分析機器工業会（以下 JAIMA という）のスポンサーシップによる JAIMA 機器開発賞によって構成される。
- 第3条 本賞は、毎年2件以内とする。

お知らせ

- 第4条 本賞は、賞状、賞牌及び副賞とする。
- 第5条 本賞を受けた者は、受賞記念講演を行うほか、本会論文誌「分析化学」に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない。
- 第6条 本会会長は、毎年会誌「ぶんせき」7号に本賞候補者の推薦に関する会告を掲載するとともにJAIMA機関誌夏号に掲載を依頼する。
- 第7条 本賞への応募者は自薦・他薦を問わず、本会支部長、本会研究懇談会委員長またはJAIMA専務理事あてに必要書類を定められた期日までに提出する。
- 第8条 支部長、研究懇談会委員長またはJAIMA専務理事は、候補者を会長に推薦する。
- 第9条 候補者の推薦に際しては、次の書類正各1通及び副各1通（但し、説明資料を除く）を1月末日までに会長に提出する。
a) 推薦書 [所定の用紙], b) 推薦理由書 [A4判用紙を縦（1行45字×40行）に使用し、本文及び業績リスト（主要なものはそれぞれ2枚以内で作成すること）], c) 被推薦者履歴書 [所定の用紙], d) 説明資料 [特に重要な報告の別刷など審査の参考となる資料]
- <以下省略>

☆

☆

【照会先】支部の推薦委員会並びに研究懇談会宛先は下記のとおりです。

- 北海道支部 : 〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1 北海道教育大学札幌港化学教室内
rin-k@kdr.biglobe.ne.jp
- 東北支部 : 〒960-1296 福島県福島市金谷川1 福島大学共生システム理工学類分析化学研究室内
takagai@sss.fukushima-u.ac.jp
- 関東支部 : 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学理工学部分析化学研究室内
jsac-kanto@jsac.or.jp
- 中部支部 : 〒460-0011 愛知県名古屋市中区大須1-35-18 中部科学技術センター内
s.matsushita@c-goudou.org
- 近畿支部 : 〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター内
mail@bunkin.org
- 中国四国支部 : 〒739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科分析化学研究室内
ishizaka@hiroshima-u.ac.jp
- 九州支部 : 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学大学院先端科学研究部内
jsac_kyushu@jsac.jp

研究懇談会

- 液体クロマトグラフィー : 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ305号
- ガスクロマトグラフィー : 〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7 長崎国際大学薬学部薬学科
- 高分子分析 : 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 中部大学応用生物学部応用生物化学科
- X線分析 : 〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学大学院工学研究科内
- 化学センサー : 〒559-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学大学院工学研究科内
- 有機微量分析 : 〒468-8503 愛知県名古屋市中区天白区八事山150 名城大学分析センター
- 分析試薬 : 〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 九州大学大学院理学研究科化学専攻
- 溶液界面 : 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科化学専攻
- 電気泳動分析 : 〒501-1196 岐阜県岐阜市大学西1-25-4 岐阜薬科大学機能分子学大講座薬品分析化学研究室内
- イオンクロマトグラフィー : 〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1 高知大学教育研究部総合科学系複合領域科学部門
- フローインジェクション分析 : 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247 愛知工業大学工学部応用化学科
- 環境分析 : 〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部内
- 表示・起源分析技術 : 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5 東京電機大学工学部応用化学科内
- 熱分析 : 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス
- レアメタル分析 : 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
- 溶液反応化学 : 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学教育研究院自然科学系数理物質科学系列
- 電気分析化学 : 〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科内
- ナノ・マイクロ化学分析 : 〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学大学院工学研究院内
- バイオ分析 : 〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科
- スクリーニング分析 : 〒110-0015 東京都台東区東上野4-10-3 ASANOビル1階101号室
(株)神戸工業試験場生産本部技術開発部内

(一社)日本分析機器工業会専務理事宛先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル3F

他機関の賞及び助成金の候補者募集

本会は、他機関が贈呈する賞などに会員諸氏の優れた研究業績を推薦するための委員会を設けております。本会の推薦を希望される方は、所定の申請用紙（授賞団体に請求）に記入のうえ、本会締切日までに下記にお申し込みください。同委員会は、申請内容を審査のうえ、当該機関に推薦します。内容の詳細については、下記の授賞団体にお問い合わせいただくか、授賞団体のホームページをご覧ください。本会締切日のないものは、直接授賞団体に提出してください。

公益財団法人旭硝子財団研究助成

助成団体：(公財)旭硝子財団(〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F、電話：03-5275-0620、E-mail：post@af-info.or.jp、URL=http://www.af-info.or.jp)〈締切日〉8月～9月。〈助成件数〉85件程度。〈助成金額〉2億3,000万円。〈助成対象・資格〉化学・生命、物理・情報、建築・都市工学、人文・社会科学、環境フィールドの研究。国内の大学とその附置研究所、大学共同利用機関、高等専門学校に勤務する常勤の研究者。詳細は財団ホームページに記載。

ブループラネット賞

授賞団体：(公財)旭硝子財団(同上)〈締切日〉10月。〈授賞件数〉2件〈賞金額〉5,000万円/件。〈対象・資格〉地球環境問題の解決に向けて科学技術の面で著しい貢献をした個人または組織。

井上学術賞・井上研究奨励賞

授賞団体：(公財)井上科学振興財団(〒150-0036 東京都渋谷区南平台町15-15 南平台今井ビル601、電話：03-3477-2738、URL=http://www.inoue-zaidan.or.jp)〈締切日〉9月17日。〈授賞件数〉井上学術賞5件以内、井上研究奨励賞40件〈副賞〉井上学術賞200万円/件、井上研究奨励賞50万円/件。〈助成対象・資格〉井上学術賞：自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた50歳未満の研究者、井上研究奨励賞：過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した37歳未満の研究者で、自然科学の基礎研究において新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出した研究者。推薦方法、書式は財団ホームページに記載。

井上リサーチアワード

授賞団体：(公財)井上科学振興財団(同上)〈締切日〉7月30日。〈授賞件数〉4名以内。うち、1名以上を女性研究者とする。〈助成額〉500万円/人。〈助成対象〉自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、さらに開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援する目的で研究を助成する。〈資格〉博士の学位取得後9年未満の研究者。申請方法、書式は財団ホームページに記載。

岩谷直治記念賞

授賞団体：(公財)岩谷直治記念財団(〒104-0028 東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3F、電話：03-6225-2400、http://www.iwatani-foundation.or.jp/)〈締切日〉8月31日。〈授賞件数〉2件以内。〈副賞金額〉500万円。〈対象分野・資格〉学会・協会およびその他研究機関等において、次の項目に関し優れた技術開発が既に完成し、かつ顕著な産業上の実績があると認められた業績；生産プロセスの合理化によるエネルギーの有効利用・効果的な環境保全の達成、エネルギーおよび環境に関する独創的技術の開発、エネルギーおよび環境に関連した新素材・バイオ新技術・エレクトロニクス新技術の開発。個人又はグループ。

岩谷科学技術研究助成

助成団体：(公財)岩谷直治記念財団(同上)〈締切日〉7月31日。〈助成件数〉55件以内。〈助成金額〉200万円/件。〈対象分野〉次の分野に関する独創的な研究。また、そのための新たなシステムの開発や創発的基礎研究を含む；再生可能エネルギー源、将来に期待される燃料、エネルギーの変換・輸送・利用の高効率化・合理化など、エネルギー材料、低温の利用、環境保全・地球温暖化防止・エネルギー利用上の安全性。〈資格〉日本の大学および高等専門学校に在籍する個人又はグループ。1～2年以内に研究の成果が期待されるもの。

一般財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞

授賞団体：(一財)材料科学技術振興財団(〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6、電話：03-3415-2200、E-mail：prize@mst.or.jp、URL=https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html)〈募集期間〉毎年3月中旬～4月末日。〈授賞件数〉各分野1件以内。〈賞金額〉300万円/件(その他に賞状)。〈授賞対象〉第21回「計測評価」「バイオ・医科学」。対象分野は「材料」「半導体及びシステム・情報・エレクトロニクス」「計測評価」「バイオ・医科学」の4分野からなり、隔年で2分野ずつ対象。論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績をあげている人(複数人可、総計3名以内)。

島津賞

表彰団体：(公財)島津科学技術振興財団(〒604-8445 京都府京都市中京区西ノ京徳大寺町1、電話：075-823-3240、E-mail：ssf@zaidan.shimadzu.co.jp、URL=https://www.shimadzu.co.jp/SSF)〈締切日〉7月31日。〈表彰件数〉1件。〈賞金額〉500万円。〈表彰対象〉科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において、著しい成果をあげた功労者を表彰する。

島津奨励賞

表彰団体：(公財)島津科学技術振興財団(同上)〈締切日〉7月31日。〈表彰件数〉3件以下。〈賞金額〉100万円。〈表彰対象〉科学技術、主として科学計測に係る領域で、基礎的研究および応用・実用化研究において独創的成果をあげかつその研究の発展が期待される国内の研究機関に所属する45歳以下の研究者を表彰する。

島津科学技術振興財団研究開発助成

助成団体：(公財)島津科学技術振興財団(同上)〈締切日〉7月31日。〈助成対象・資格〉科学技術、主として科学計

お知らせ

測に係る領域で、基礎的研究を対象とし、国内の研究機関に所属する45歳以下（募集開始4月1日時点）の研究者に助成する（国籍不問）。〈助成件数・金額〉(1) 科学計測に係る一般分野：20名、総額2,000万円、(2) 科学計測に係る新分野3名以下、総額300万円以下。(2)の対象分野は毎年度、当財団が設定する。本年度のテーマ：「先進情報技術を用いた計測技術・解析技術の前線開拓分野」。

猿橋賞（本会締切日：9月30日）

授賞団体：(一財)女性科学者に明るい未来をの会（〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-49-7 池袋パークビル1F インスクエア池袋, E-mail: saruhashi2019@saruhashi.net, URL=http://www.saruhashi.net）〈締切日〉11月30日。
〈授賞件数〉1件。〈賞金額〉30万円。〈助成対象・資格〉自然科学の分野で顕著な業績をおさめた女性科学者。50歳未満の者。

公益社団法人石油学会研究助成

助成団体：(公社)石油学会（〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-8-4 陽友神田ビル4F, 電話:03-6206-4301, URL=https://sekiyu-gakkai.or.jp/jp/natural/supportcode.html）〈締切日〉11月30日。〈助成件数〉4件以内。
〈助成金額〉100万円以内/件。〈助成対象〉石油、天然ガスをはじめとするエネルギー、石油化学関連の目的基礎研究および応用的研究ならびに開発。〈資格〉日本国内の大学、工業高等専門学校など研究機関に所属する若手研究者で満40歳未満の者又はグループ。

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団研究助成

助成団体：(公財)ソルト・サイエンス研究財団（〒106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業ビル3F, 電話:03-3497-5711, E-mail: saltscience@saltscience.or.jp, URL=http://www.saltscience.or.jp）〈応募期間〉2020年10月25日～11月25日。〈助成件数・金額〉(1) 一般公募研究：50件程度、120万円以下/件、(2) プロジェクト研究：5件程度、年間100～200万円/件〈助成対象〉分析化学分野では海水成分の分析法の研究、塩中成分の分析法の研究など。〈資格〉日本国内の大学、公的研究機関等で研究に携わる者（学生・研究生等を除く）。

鉄鋼研究振興助成

助成団体：(一社)日本鉄鋼協会（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館5F, 電話:03-3669-5932, URL=http://www.isij.or.jp/subcommittee/promotion/shinkou2020.html）〈応募期間〉7月1日～7月19日。
〈助成件数〉35件。〈助成金額〉100万～300万円/件。〈助成対象〉鉄鋼および鉄鋼に関連する材料・プロセスに関する分野の学術及び技術の発展に寄与する研究。〈応募資格〉研究期間中、日本の国立大学、公私立大学、工業高等専門学校等の教育機関に所属し、本国内で研究に従事する研究指導者。ホームページからご応募ください。

公益財団法人鉄鋼環境基金 環境研究助成

助成団体：(公財)鉄鋼環境基金（〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6F, 電話:03-5652-5144, URL=http://www.sept.or.jp/）〈応募期間〉4月1日～5月下旬。〈助成件数〉40～45件程度。〈助成金額〉(1) 一般150万円以下/件 (2) 若手100万円以下/件。〈助成対象〉鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題。〈資格〉原則として、日本国内にある組織に所属する研究者。詳細は鉄鋼環境基金ホームページに掲載の募集要綱を参照。

東急財団研究助成

授賞団体：(公財)東急財団（〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5-6, 電話:03-3477-6301, E-mail: foundation@tkk.tokyu.co.jp, URL=https://foundation.tokyu.co.jp）〈締切日〉2021年度の研究助成の公募を休止。〈助成件数〉未定。〈助成金額〉未定。〈助成対象〉未定。新たなミッションである「地域社会の持続可能な発展」を踏まえ、2022年度に向けて「地域の環境課題解決への貢献」を軸とする新しい助成テーマの検討を進める〈資格〉未定。新助成テーマによる公募開始は、2021年秋頃を予定。

東急財団社会貢献環境学術賞

授賞団体：(公財)東急財団（同上）〈締切日〉2021年度の推薦公募を休止。〈授賞件数〉未定。〈賞金額〉未定。〈対象・資格〉未定。新たなミッションである「地域社会の持続可能な発展」を踏まえ、2022年度に向けて新しい顕彰テーマの検討を進める。〈推薦依頼先〉推薦公募開始は、2022年春頃を予定。

東レ科学技術研究助成（本会締切日：8月31日）

授賞団体：(公財)東レ科学振興会（〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16, 電話:03-6262-1655, URL=http://www.toray-sf.or.jp/）〈締切日〉10月9日。〈助成件数〉10件程度。〈助成金額〉最大3,000万円。〈助成対象・資格〉国内の研究機関において自らのアイディアで萌芽の研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時45歳以下）。

東レ科学技術賞（本会締切日：2021年6月中旬ウェブサイトへ掲載予定）

授賞団体：(公財)東レ科学振興会（同上）〈締切日〉10月9日。〈授賞件数〉2件以内。〈賞金額〉500万円。〈授賞対象・資格〉理学・工学・農学・薬学・医学（除・臨床医学）関係で、学術上の業績が顕著な方、学術上重要な発見をした方、効果が大きい重要な発明をした方、技術上重要な問題を解決し、技術の進歩に大きく貢献した方。

中谷賞

授賞団体：(公財)中谷医工計測技術振興財団（〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8F, 電話:03-5719-2125, E-mail: info-award@nakatani-foundation.jp, URL=http://www.nakatani-foundation.jp）〈締切日〉9月27日〈授賞件数〉大賞1件、奨励賞2件。〈賞金額〉大賞1000万円、奨励賞300万円/件。〈表彰対象・資格〉大賞：医工計測技術について優れた業績を挙げ、現在でも活発な研究活動を行っている研究者。奨励賞：医工計測技術について独創的な研究をし将来有望な研究者で応募締切時45歳以下（推薦が必要）。

中谷医工計測技術振興財団研究助成

授賞団体：(公財)中谷医工計測技術振興財団（同上）医工計測および関連技術の研究分野で助成を行います。詳細は財団ホームページから募集要綱を参照。技術開発研究助成：〈応募期間〉6月1日～7月19日〈助成金額〉開発研究500

お知らせ

万円、奨励研究 200 万円/1 年間、400 万円/2 年間、特別研究 最大 2 年間 3,000 万円、長期大型研究 最大 6,000 万円・最長 5 年間。技術交流助成：〈応募期間〉募集要綱を参照。〈助成金額〉海外派遣 最大 1 週間 40 万円、日本招聘 最大 1 週間 150 万円、海外留学 短期 305 万円、長期 930 万円、日本留学 最大 2 年間 480 万円、調査研究助成：〈応募期間〉6 月 1 日～7 月 19 日〈助成金額〉最大 2 年間 300 万円。

笹川科学研究助成・「学術研究部門」

助成団体：(公財)日本科学協会 (〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F, 電話：03-6229-5365, E-mail : josei@jss.or.jp, URL=https://www.jss.or.jp)〈締切日〉10 月 15 日(予定)。〈助成件数〉323 件(2020 年度実績)。〈助成額〉100 万円以内/件。〈助成対象・資格〉人文・社会系/数物・工学系/化学系/生物系/複合系(各系に海洋関連研究を含む、ただし医学系を除く)。大学院生あるいは所属機関等で非常勤雇用または任期付き雇用研究者として研究活動に従事する 35 歳以下の者。

ブリヂストンソフトマテリアルフロンティア賞

授賞団体：(一社)日本ゴム協会 (〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル 1F, 電話：03-3401-2957, E-mail : office@srij.or.jp, URL=http://www.srij.or.jp/)〈締切日〉11 月 30 日。〈授賞件数〉3 件以内。〈賞金額〉フロンティア賞 50 万円、奨励賞 2 件 25 万円/件。〈表彰対象・資格〉ゴムおよび将来ゴム技術・ゴム産業に貢献しうる関連分野での先端的研究。45 歳以下の者で本会会員に限定しない。

バイオインダストリー大賞

授賞団体：(一財)バイオインダストリー協会(〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 8F, 電話：03-5541-2731, E-mail : award2021@jba.or.jp, URL=https://www.jba.or.jp)〈締切日〉5 月 6 日。〈授賞件数〉1 件。〈賞金額〉300 万円/件。〈対象案件〉バイオサイエンス、バイオテクノロジーおよびバイオインダストリー分野における自然科学および人文・社会科学領域の研究・技術開発および産業化推進活動で、バイオインダストリーの発展に大きく貢献した、または今後の発展に大きく貢献すると期待される業績。〈対象者〉個人、企業、少人数の組織・グループ。年齢および所属を問わない。

バイオインダストリー奨励賞

授賞団体：(一財)バイオインダストリー協会(同上)〈締切日〉5 月 6 日。〈授賞件数〉10 件以内。〈賞金額〉30 万円/件。〈対象案件〉バイオサイエンス、バイオテクノロジーに関連する応用を指向した研究に携わる有望な研究者。応用分野は、A：医薬・ヘルスケア、B：食品・第一次産業、C：化学・材料・環境・エネルギー。〈対象者〉次の全ての要件に該当すること。1) 大学、公的研究機関、非営利の社団法人・財団法人の研究者、個人での応募に限る、2) 当該年度の 4 月 1 日において 45 歳未満の者、3) 本賞授与の時点で本財団の個人会員であること。

三島海雲学術賞

授賞団体：(公財)三島海雲記念財団(〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル, 電話：03-5422-9898, E-mail : mishimak15@mishima-kaiun.or.jp, URL=https://www.mishima-kaiun.or.jp)〈締切日〉9 月末。〈授賞件数〉(1) 自然科学部門 2 件以内、(2) 人文科学部門 (1 件以内)。〈賞金額〉300 万円/件。〈授賞対象〉(1) 「食の科学」に関する研究：食品素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病予防などに係る研究 (2) 「アジア地域」の歴史を中心とする人文科学に関する研究 (但し日本を中心とする研究は除く。)〈資格〉45 歳未満の者 (受賞年 4 月 1 日現在)。当財団が依頼する学会、大学等研究機関より推薦された候補者。

三島海雲記念財団学術研究奨励金 (研究助成)

助成団体：(公財)三島海雲記念財団(同上)〈締切日〉2 月 26 日。〈助成件数〉自然科学部門 (A) 個人 60 件程度。(B) 共同 3～5 件程度。〈助成金額〉(A) 100 万円/件、(B) 200～500 万円/件〈助成対象〉食の科学に関する学術研究。〈応募資格〉日本在住の研究者 (国籍は問いません)、並びに海外在住の日本人研究者 (日本国籍を有する者)。

問合せ・本会書類提出先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
公益社団法人日本分析化学会他機関賞係〔電話：03-3490-3351〕

—ISO/IEC 17043に基づく技能試験—
第23回ダイオキシン類分析(ばいじん)技能試験
参加試験所の募集

主催 (公社)日本分析化学会

協賛 (一社)日本環境測定分析協会

ダイオキシン類の分析は排水、フライアッシュ、土壌など広範囲にわたっています。その分析には高度で複雑な前処理や測定技術の知識・経験が必要とされ、最新の分析技術・技能情報が求められます。分析の信頼性向上のためには試験結果を常に他所の試験結果と比較し、その差異を究明して対策をとっていく必要があります。ISO/IEC 17043に基づく試験所間比較・技能試験は、そのようなニーズを満たすものです。

本会技能試験委員会では、2000年度より試験所間比較・技能試験を実施しています。参加試験所には標準物質と同様に均質な試験用試料をお送りします。分析結果を本会に返送されますと、参加試験所の測定結果を統計的に比較し、皆様の試験所の測定結果を全試験所と比較して評価し、報告書をお届けします。本試験に参加することにより、試験所のバイアスを把握でき、試験所の測定傾向や異状をいち早くキャッチでき、内部精度管理ではできない分析の信頼性向上を図ることができます。当技能試験では均質なばいじん試料を配布し、GCカラム条件などの分析技術情報なども報告書に掲載しますのでご利用いただけます。ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025)による試験所認定を受審される場合は、このような試験所間比較・技能試験を受けていることが必須条件の一つになります。奮ってご参加ください。

日程 受験申込締切 : 7月16日(金)
技能試験用試料の配付 : 7月27日(火) 発送予定
分析結果の報告締切 : 10月15日(金) 必着厳守
中間報告書の発行送付 : 11月19日(金) 予定
最終報告書の発行送付 : 12月24日(金) 予定

対象事業所 ダイオキシン類分析を業務とするすべての試験所
目的 各社分析値の正確さの確認を通して分析技能の維持向上を図り、分析試験所認定へ向けての試験機関の技術レベルを確認するため。

分析試料 焼却炉ばいじん

結果報告の内容 参加試験所に対して、ISO/IEC17043に規定する統計的手法による集計結果とその試験所の σ スコアを報告します。試験所名は記号で表示されます。したがって、自社の試験結果が全体のどこに位置するかを当事者のみができることができます。なお、本会が貴試験所提出データ及び試験結果情報を第三者に公開することはありません。最終報告書等に参加試験所名の一覧は掲載しません。ただし、最終報告書の内容は、他機関の要求に応じて、提供又は掲載することがあります。本会技能試験委員会が実施する当技能試験はISO/IEC17043に従うものであり、試験所認定を受ける際にその旨評価されることが、試験所認定機関{(公財)日本適合性認定協会}との間で合意されています。

参加料(本体価格) 日本分析化学会団体会員 50,000円、協賛学協会会員 60,000円、会員外 75,000円(いずれも消費税別)。※会社、事業所単位での技能試験のため、本会団体会員または協賛学会に所属していない場合は、会員外扱いとなります(本会個人会員名義での申込については、会員扱いはいたしません)。

募集受付試験所数 200 試験所

参加申込方法 日本分析化学会ホームページ (<http://www.jsac.jp>) → 上方のMENU又は下方のクイックリンク「日本分析化学会の行事及び事業」→ 技能試験 → 「第23回ダイオキシン類分析技能試験参加申込」の申込用Excelファイルに必要事項をご記入のうえ、ホームページ上のここをクリック(申込サイト)を通じてお申し込みください。(1) 試験所名

(参加証に記載する試験所名称にも使用しますので必要な場合は部署まで記載) (2) 連絡先(氏名、所属、所在地、郵便番号、電話・FAX番号、E-mail)、(3) 団体会員・会員外の別(団体会員番号を必ず記入) (4) 参加料金額を記入。

送金方法 参加申込をいただきますと、受領通知とともに請求書を送りますので、8月31日までに指定口座に参加料をお振り込みください。振込手数料は貴方でご負担ください。なお、参加料の返金はいたしませんので予めご了承ください。

問合せ先 上記の申込ができない場合や他のお問い合わせは下記へご連絡ください。

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号 (公社)日本分析化学会技能試験事務局 [電話: 03-3490-3352, FAX: 03-3490-3572, E-mail: pro.test@jsac.or.jp]

2021年度液体クロマトグラフィー分析士
五段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 10月12日(火) 14時~15時30分

会場 日本分析化学会会議室 [東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ303号室]

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導、学位論文の審査、国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出)、筆記試験(記述式)及び面接試験を総合して合否を決定します。書類選考用資料(体裁自由)

には、①氏名、②生年月日、③現職、④学歴、⑤職歴、⑥LCに関する研究・業務経験、⑦論文発表(適当数)、⑧学位の有無、⑨講習会・講演会における講師等の実績、⑩論文査読の経験、⑪学位論文審査の経験、⑫組織委員・実行委員等の実績、⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績、⑭その他、特記事項、をこの順で記載し、申込締切日までに下記資料送付先に電子メールでお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には、与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士四段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、資料送付先に書類選考用資料をお送りください。

申込締切 9月30日(木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義: (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。複数名の受験料を一括振込した場合はその旨と受験者のお名前をお知らせください。なお、一度振込いただいた受験料は返却しません。

資料送付先・問合せ先 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会分析士認証試験係 (E-mail: nakamura@jsac.or.jp)

2021年度LC/MS分析士五段認証試験実施の
お知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですので、お知らせいたします。

日時 10月19日(火) 14時~15時30分
会場 日本分析化学学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

五段資格のイメージ 「分析士を育成・指導できるレベル(師範)。論文の査読・指導, 学位論文の審査, 国際会議において存在価値が評価される質疑応答ができる。」

分析士五段認証試験 分析士五段試験では書類選考試験(事前提出), 筆記試験(記述式)及び面接試験を総合して合否を決定します。書類選考用資料(体裁は自由)には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥LC/MSに関する研究・業務経験, ⑦論文発表(適当数), ⑧学位の有無, ⑨講習会・講演会における講師等の実績, ⑩論文査読の経験, ⑪学位論文審査の経験, ⑫組織委員・実行委員等の実績, ⑬国際会議における座長・依頼講演等の実績, ⑭その他, 特記事項, をこの順で記載し, 申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には, 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題, が出題され45分以内に解答していただきます。面接試験は筆記試験後に30分程度行います。

受験料 9,900円(合格者は登録料6,600円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士四段試験に合格し, 登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後, 資料送付先に書類選考用資料をお送りください。

申込締切 10月7日(木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。複数名の受験料を一括振込した場合はその旨と受験者のお名前をお知らせください。なお, 一度振込いただいた受験料は返却しません。

資料送付先・問合せ先 (公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会分析士認証試験係 (E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

2021年度液体クロマトグラフィー分析士四段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして, 下記要領で実施する予定ですので, お知らせいたします。

日時 11月16日(火) 14時~15時30分

会場 日本分析化学学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表, 投稿を通して, 技術的議論が行え, 講習会の講師が務まるレベル。また, 当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し, 博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して合否を決定します。書類選考用資料には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥LCに関する研究・業務経験, ⑦論文発表(適当数), ⑧口頭発表(適当数), ⑨学位の有無, ⑩その他, 特記事項, をこの順で記載し, 申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には, 1) 英文和訳問題, 2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題, の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC分析士三段試験に合格し, 登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後, 資料送付先に書類選考用資料をお送りください。

申込締切 11月4日(木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。複数名の受験料を一括振込した場合はその旨と受験者のお名前をお知らせください。なお, 一度振込いただいた受験料は返却しません。

資料送付先・問合せ先 (公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会分析士認証試験係 (E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

2021年度LC/MS分析士四段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして, 下記要領で実施する予定ですので, お知らせいたします。

日時 11月30日(火) 14時~15時30分

会場 日本分析化学学会会議室〔東京都品川区西五反田1-26-2
五反田サンハイツ303号室〕

四段資格のイメージ 「学会発表, 投稿を通して, 技術的議論が行え, 講習会の講師が務まるレベル。また, 当該分析・測定技術に関する英語の文献を適切に理解し, 博士の学位に相当する学識経験を有する。」

分析士四段認証試験 分析士四段試験では書類選考試験(事前提出)と筆記試験(記述式)とを総合して合否を決定します。書類選考用資料には, ①氏名, ②生年月日, ③現職, ④学歴, ⑤職歴, ⑥LC/MSに関する研究・業務経験, ⑦論文発表(適当数), ⑧口頭発表(適当数), ⑨学位の有無, ⑩その他, 特記事項, をこの順で記載し, 申込締切日までに下記資料送付先にお送りください(お送りいただいた資料は本認証試験以外の目的には使用しません)。筆記試験には, 1) 英文和訳問題, 2) 与えられた課題に対してご自身の考えを問う問題, の2題が出題され90分以内に解答していただきます。

受験料 8,800円(合格者は登録料5,500円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士三段試験に合格し, 登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後, 資料送付先に書類選考用資料をお送りください。

申込締切 11月18日(木)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:(公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会。複数名の受験料を一括振込した場合はその旨と受験者のお名前をお知らせください。なお, 一度振込いただいた受験料は返却しません。

資料送付先・問合せ先 (公社)日本分析化学学会液体クロマトグラフィー研究懇談会分析士認証試験係 (E-mail:nakamura@jsac.or.jp)

表示・起源分析技術研究懇談会 第25回講演会「気体中の金属分析から起源に迫る」

主催 (公社)日本分析化学学会表示・起源分析技術研究懇談会
協賛 (公社)日本分析化学学会

気体中の金属分析に焦点を当て, 大気環境研究のような学術面から品質管理のような産業面まで幅広い方面から起源分析に迫ります。気体中の金属を直接リアルタイムで分析する技術は以前から求められてきました。近年, これら金属を自動で簡便に測定できる装置やppq(10⁻¹⁵)レベルで測定できる装置が実用段階に入ってきました。大気汚染物質を自動で監視した

お知らせ

り、単なる気体分析の枠を超えて、半導体産業における金属汚染の監視や大気中試料のレーザーアブレーション測定など様々な方面への応用が期待されています。起源を特定する手段としても利用され、興味深い成果が得られていることから、基礎から応用まで紹介する講演会を企画しました。

期日 9月3日(金) 9.35~15.35

開催方法 オンラインによる講演会(「Zoom」を利用したライブ配信)

プログラム

09.00 Zoomへの入室開始

09.35~09.45 開会挨拶

09.45~10.30 講演1 自動成分分析装置(PX375)を用いた発生源解析への取り組み

(㈱堀場製作所開発本部環境・プロセス事業センター) 山渡翔太

10.30~11.15 講演2 水銀安定同位体比を用いて大気ガス状水銀の動態を調べる

(環境省国立水俣病総合研究センター環境・保健研究部) 伊禮 聡

11.15~12.00 講演3 ICP-MS用気体試料直接導入装置のご紹介

(㈱イラス GEDプロダクツマネージャー) 西口講平

12.00~13.15 休憩

13.15~14.00 講演4 大気中の放射性セシウムの運び手を探る

(茨城大学理工学研究科) 北 和之

14.00~14.45 講演5 GED-ICP-MSを用いた気中粒子の元素分析に関する応用研究

(産業技術総合研究所計量標準総合センター物質計測標準研究部門) 大畑昌輝

14.45~15.30 講演6 半導体分野で用いられる特殊ガス中の金属不純物分析

(㈱イラス 代表取締役) 川端克彦

15.30~15.35 閉会挨拶

参加費 本研究懇談会会員：無料、非会員：1,500円、学生：無料

申込および参加費振込の締切 8月26日(木)

申込方法 研究懇談会ホームページHP
(<http://www.jsac.or.jp/~kigen/>)を参照

問合先 表示・起源分析技術研究懇談会事務局 社藤悦子(東京電機大学)〔電話：03-5284-5445, FAX：03-5284-5692, E-mail：hyoji.kigen@gmail.com〕

一般当日：6,000円(会員)、6,500円(非会員)、学生予約：2,000円、学生当日：3,000円。詳細については、第57回X線分析討論会ホームページ <https://xbun.jsac.jp/conference/no57.html> をご覧ください。

連絡先 〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1 福岡大学理学部化学科 栗崎 敏〔電話：092-871-6631(内線：6218), FAX：092-865-6030, E-mail：xbun57@fukuoka-u.ac.jp〕

分析化学イノベーションフォーラム助成の案内

日本分析化学会関東支部では、このたび広い意味での原子・分子計測研究分野およびその利用による科学現象の機構解明に関する学術的・技術的に重要なテーマの解決を目指す「分析化学イノベーションフォーラム(以下、フォーラムと略)」を募集し、その活動を支援することといたしました。本フォーラムでは、産官学が共同で研究することで人的交流を促進し、分析化学イノベーションに資することを目的とします。全国の会員からの積極的なご応募を期待しています。

応募資格 申請者は、正会員1名を含む総数4名以上のフォーラム委員会を構成する。なお、経理担当者は関東支部所属の正会員とする。また、非会員の委員は採択され次第、日本分析化学会に入会すること。

応募締切 2021年8月31日(火)

助成期間 2021年10月(予定)から2023年2月

件数と金額 2件以内。それぞれ70万円を上限に支給する。

助成内容等 フォーラム運営費にのみ支払可能とする。具体的には、旅費、謝金、会議費、印刷費とする。なお、年1回以上、会計報告および進捗状況の報告を行うものとする。

照会・申請書提出先 kanto@jsac.or.jp

第57回X線分析討論会

主催 (公社)日本分析化学会X線分析研究懇談会

共催 (公社)日本分析化学会九州支部

期日 11月5日(金)・6日(土)

会場 福岡大学中央図書館1階多目的ホール〔福岡市城南区七隈8-19-1〕

討論主題

- (1) X線分析と考古学
- (2) X線分析による材料解析とその応用展開
- (3) X線イメージングおよび顕微分析
- (4) X線検出器開発と新規分析法への展開
- (5) X線吸収分光法と電子分光(XAFS, EELS)
- (6) 表面分析(XPS, TXRF), その他

講演申込期間 7月1日(木)~7月30日(金)

・講演内容は未発表のものに限ります。

講演要旨受付期間 8月6日(金)~9月10日(金)

事前参加申込登録期間 9月1日(水)~10月15日(金)

参加登録料 一般予約：4,500円(会員)、5,000円(非会員)、

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

“つける”と“はがす”の新技术 —分子接合と表面制御コース

主催 (地独) 神奈川県立産業技術総合研究所
期日 9月8日(水)・9日(木)
会場 かながわサイエンスパーク内会議室
ホームページ
<https://www.kistec.jp/learn/researcher/molecular-bonding/>
連絡先 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 (地
独) 神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部教育研修グ
ループ [電話: 044-819-2033, FAX: 044-819-2097, E-
mail: manabi@kistec.jp]

第72回コロイドおよび界面化学討論会

主催 (公社) 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
期日 9月15日(水)~17日(金) および21日(火)
会場 オンライン開催
ホームページ
<https://confit.atlas.jp/guide/event/colloid2021/top>
連絡先 第72回コロイドおよび界面化学討論会事務局 [E-
mail: secre.dm@colloid.csj.jp]

第7回材料WEEK

主催 (公社) 日本材料学会
期日 10月12日(火)~15日(金)
会場 京都テルサ
ホームページ <http://www.jsms.jp>
連絡先 〒606-8301 京都府京都市左京区吉田泉殿町1-101
(公社) 日本材料学会 [電話: 075-761-5321, FAX: 075-
761-5325, E-mail: jimuj@jsms.jp]

第34回日本吸着学会研究発表会

主催 日本吸着学会
期日 10月14日(木)・15日(金)
会場 オンライン開催
ホームページ
http://www.j-ad.org/annual_meeting/
連絡先 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北
大学片平キャンパス東2号館4階 東北大学材料科学高等
研究所 多元物質科学研究所 西原洋知 [電話: 022-217-
5627, E-mail: annualmeeting@j-ad.org]

第18回放射線プロセスシンポジウム

主催 放射線プロセスシンポジウム実行委員会
期日 11月16日(火)・17日(水)
会場 Web開催
ホームページ
http://www.rada.or.jp/fukyu/18th_sympto/top_page.html
連絡先 (一財)放射線利用振興協会高崎事業所 [電話: 027-

346-4246, FAX: 027-346-9822, E-mail: radiaproc.
sympo@rada.or.jp]

第48回炭素材料学会年会

主催 炭素材料学会
期日 12月1日(水)~3日(金)
会場 沖縄県男女共同参画センターていりる
ホームページ <http://www.tanso.org/>
連絡先 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミー
センター 炭素材料学会年会ヘルプデスク [FAX: 03-
3368-2827, E-mail: tanso-desk@bunken.co.jp]

「分析化学」 年間特集「省」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する、転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところです。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の4・5号及びホームページをご参照ください。
特集論文申込締切：2021年7月30日（金）（第1期）
特集論文原稿締切：2021年8月13日（金）（第1期）

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第12号に分析化学討論会特集号を企画しており、分析化学討論会の討論主題に関連した論文を掲載してきました。2021年度の分析化学討論会特集号では、「活力ある分析化学～持続と発展～」をテーマとしました。分析化学討論会にて発表を予定されている方々の論文を募集いたします。

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すことを目的とし、2015年に国連サミットにおいて、持続可能な開発目標SDGs 17が掲げられました。一方で、現在、我々は新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックに直面しています。また、本年は東日本大震災発生後10年にあたりますが、廃炉問題も含め、復興も道半ばの状況です。分析化学は、測る技術であると共に、数多くのデータの中から、原因を究明すると共に、問題解決の糸口を見出すことが可能な学問であり、課題克服に果たす役割は大きいものと期待されます。

このような現状に鑑み、人類の持続と発展に貢献することを目指した、分析化学における新しい方法論の提案や応用例を取り扱った論文を広く募集いたします。分析化学討論会にて発表を予定されている方々、ならびに本特集号のテーマに関する研究をなさされている方々からのご投稿をお待ちしております。

特集論文の申込締切：2021年7月9日（金）

特集論文の原稿締切：2021年8月13日（金）

「分析化学」編集委員会特集
「分離分析の進展」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」誌では、毎年第6号に「編集委員会特集」として特集号を企画しています。2022年度（第71巻）の「編集委員会特集」のテーマは、『高感度解析に寄与する分離分析技術』に決定いたしました。分析技術は種々の分野における基盤技術であり、新たなサイエンスを切り拓く原動力として重要な役割を果たしてきました。近年、質量分析装置の発展は目覚まし

く、各分析機器メーカーから販売されている装置を購入すれば高感度かつ精密に、その質量を測定することが可能となっています。また、操作性、利便性、迅速性も格段に向上しており、もはや検出器として質量分析装置を用いることがスタンダードとなりつつあります。質量分析装置と同様に各検出器の感度も飛躍的に上昇していることを鑑みると、質量分析装置を含めた、これら最新の検出器に目的とする分析対象物をいかにして高純度に届けるかが課題として挙げられます。

上記状況に鑑み、本特集では、高感度解析に寄与する分離分析技術と題し、クロマトグラフィーや電気泳動などの分離分析を対象とした研究に着目することとしました。新たなサイエンスを切り拓くための分離技術、新素材での新しい分離様式およびその応用に関する論文の投稿をお待ちしております。また、「若手研究者の初論文特集」への応募資格を満たしている方は、本特集論文と兼ねて投稿していただくこともできますので、若手の研究者の皆様のご投稿もお待ちしております。

詳細は「分析化学」誌の6号及びホームページを参照ください。

なお、投稿申込締切日は10月1日（金）、原稿締切日は12月3日（金）です。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報

- など
- 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
 - お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会
〔E-mail : bunseki@jsac.or.jp〕

する場としても活用して頂けるかと思っておりますので、奮ってご投稿ください。また、国内における科学技術の国際競争力強化のため産学連携が推進されています。その研究成果を企業の視点からご投稿ください。若手研究者のご投稿もお待ちしております。詳細は「分析化学」誌ホームページをご参照ください。

表彰対象論文：1) 独創的であり、実用的な分析技術や機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められた論文。
2) 企業あるいは公設試験研究機関に所属する者が筆頭著者あるいは連絡代表者である論文。

「お知らせ」欄原稿について

支部並びに研究懇談会の役員の皆様：掲載用の原稿ファイルをどうぞ電子メールでお送りください。送り先は shomu@jsac.or.jp です。原稿の長さには制限はありませんが原稿締切日は掲載月の前々月 25 日（例：1 月号掲載→11 月 25 日締切）となっておりますのでご注意ください。

本会外から掲載をご希望の場合は以下をご参照ください。

- 掲載できるものは本会が共催、協賛、後援するものに限られます。
- 国際会議につきましては共催、協賛、後援申請に関する規程並びにフォームがありますので、ホームページをご覧ください。ただか、本会事務局長宛にお問い合わせください。
- 国際会議以外の講演会等に関しましては、会名、会場、主催団体名、同代表者名、開始期日、終了期日、連絡先並びに同電子メールを記載のうえ、書面でお申し出ください。
- 掲載原稿の作成要領に関しましては承諾をご返事する際にお知らせします。
- 本会支部または研究懇談会が共催、協賛、後援を承諾した事業につきましては、その旨をメールにお書きいただき、原稿ファイルを shomu@jsac.or.jp にお送りください。

国際会議以外の共催、協賛、後援に関する規程抜粋
(共催)

- 討論会、講演会等の共催とは、その討論会、講演会等の開催について、本会は主体性を持たず、会誌等を通じて広報活動等の援助を行う場合をいう。
- 本会が討論会、講演会等を共催する場合は、その討論会、講演会等の主要議題が本会の専門分野と関連を持ち、本会正会員が会議の準備、運営等の委員に若干名加わることを条件とする。
- 本会が共催する討論会、講演会等に対しては、他学協会長等の申し出によって会誌等による広報活動の援助を行う。特に理事会の承認を得て分担金を支出することがある。

(後援又は協賛)

- 討論会、講演会等の後援又は協賛とは、本会がその討論会、講演会等の開催に賛同し、後援又は協賛団体の一つとして、本会名義の使用を認める場合をいう。
- 本会が討論会、講演会等を後援又は協賛する場合は、その討論会又は講演会が分析化学に関連を持ち、その開催が本会会員にとっても有意義であることを条件とする。
- 本会が後援又は協賛する討論会、講演会等に対しては、希望に応じ会誌等による広報活動の援助を行うことがある。

「分析化学産業技術論文賞」のご案内

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2019 年に「分析化学産業技術論文賞」を設けました。独創的であり、実用的な分析技術や測定機器、並びに科学技術や産業の発展に貢献すると認められる論文を選定し、表彰することといたしました。企業技術を周知

お知らせ

日本分析化学会第 70 年会 —オンライン参加予約申込方法—

標記年会は当初予定していた神戸大学での現地開催は行わず、Web を利用したオンライン開催となります。本年会に参加される方（講演発表をされる個人会員の登壇者も含む）は、全員参加登録をしていただきます。本年会ではオンライン参加申込登録システム（以下、参加登録システムと略）を使用します。詳細及び最新情報は第 70 年会ホームページ（以下、年会 HP と略）を参照ください。講演要旨集は年会 HP 上で電子配布いたします。公開日は別記を参照ください。

日本分析化学会第 70 年会 HP : <https://conference.jsac.jp/70nenkai/>

主催 (公社)日本分析化学会

会期 2021 年 9 月 22 日 (水) ~ 24 日 (金)

日程 9 月 22 日 (水): 一般講演 (口頭, ポスター), 若手講演 (ポスター), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, ランチタイムオンラインセミナー, 展示会
9 月 23 日 (木): 一般講演 (口頭, ポスター), 若手講演 (ポスター), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 産業界 R&D 紹介講演 (ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, 学会賞受賞講演, ランチタイムオンラインセミナー, 展示会
9 月 24 日 (金): 一般講演 (口頭, ポスター), 若手講演 (ポスター), テクノレビュー講演 (口頭, ポスター), 受賞講演, 研究懇談会講演, ランチタイムオンラインセミナー, 展示会, オンライン交流会

注) 日程は変更する場合があります。

会場 Web を利用したオンライン開催

オンライン交流会 年会全日程終了後の 9 月 24 日 (金) 18 時~20 時 (予定)。第 2 日 (23 日) ではありませんのでご注意ください。

【参加予約申込方法】

以下の注意事項を熟読のうえ、申込締切期日までに参加予約申込をしてください。Web 参加予約申込のお支払最終締切日は 8 月 31 日 (火) です (但し、クレジット決済のみ)。

1. 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
2. 見積書、納品書、請求書は、原則として発行いたしません。参加登録システムより発行される領収書 PDF をご利用ください。事情により原本が必要な方は、申込者において所定の書類を作成のうえ、返信用封筒 (切手貼付) を同封して日本分析化学会事務局あてお送りください。記名、捺印のみして返送いたします。電話、メールでの書類作成依頼には応じかねます。

参加予約申込締切日

※お支払方法により締切日が異なります。

郵便振替 Web 申込締切: 8 月 23 日 (月) 14 時厳守

郵便振替払込締切: 8 月 27 日 (金)

コンビニ決済 Web 申込締切: 8 月 27 日 (金) 14 時厳守

コンビニ決済最終入金締切: 8 月 31 日 (火)

クレジット決済 Web 申込締切: 8 月 31 日 (火) 14 時厳守

参加登録料

予約登録: 会員 9,000 円, 学生会員 3,000 円,
会員外 16,000 円, 会員外学生 5,000 円
(ご注意)

- ・オンライン交流会 (懇親会) は、参加登録者のみ参加できます。参加費は無料です。
- ・会員には団体会員 (維持会員) に所属する方を含みますが、特別会員及び公益会員の場合は、1 名に限り会員扱いとなります。
- ・会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外、会員外学生は税込金額です。
- ・予約登録締切後の予約外登録はクレジット決済 Web 申込のみで 9 月 21 日 (火) 14 時まで受け付けます。予約外参加登録料: 会員 12,000 円, 学生会員 4,500 円, 会員外 18,000 円, 会員外学生 6,000 円

【年会参加登録費用領収書発行】

参加登録費用の領収書については、PDF による発行となります。決済完了後に参加登録システムより取得いただけます。

【Web 版講演要旨集の閲覧方法】

- ・本年会へ参加登録をされた皆様は、9 月 8 日以降、参加登録番号と参加申込に使用されたメールアドレスで閲覧・ダウンロードができます。
- ・10 月 25 日 (月) 14 時まで閲覧・ダウンロードが可能です。以降は閲覧できません。
- ・スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

【オンライン講演について】

本年会では、口頭発表・ポスター発表ともにオンラインで実施いたします。詳細は年会 HP を参照のうえ準備してください。

☆

☆

【オンライン講演申込登録をされた皆様へ】

講演要旨本文入力締切日は 7 月 14 日 (水) 14 時です。講演申込登録をされた方は、締切日までに必ず要旨本文の入力を済ましてください。詳細は年会

お知らせ

HPを参照のうえ要旨を入力してください。締切日以降は入力・修正ができません。

*申込方法および詳細は(株)明報社にお問い合わせ下さい。

【講演要旨集の発行日について】

第70年会Web要旨集の発行日は、2021年9月8日です。特許出願の際は、特許庁ホームページを参照のうえ、専門家である弁理士にご相談ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、公益社団法人日本分析化学会に帰属します。

【産業界R&D紹介講演（ポスター）】

主催 (公社)日本分析化学会・「産業界における研究開発と分析ソリューション」シンポジウム企画運営委員会

趣旨 産業界の分析部門間及び産学官の交流・情報収集・研究議論・技術発信/アピール・若手育成と、学生に向けた企業活動説明を目的とします。

期日 9月23日(木)の午後を予定

会場 Webを利用したオンライン開催

講演形式 すべてWeb上の仮想ポスター発表会場におけるポスター発表形式。講演時間は60分の予定です。

【展示会・企業セミナー・バナー広告】

主催 第70年会実行委員会

分析・計測機器関連メーカー・販売会社、分析技術提供会社、関連書籍出版社・販売社等と年会参加者の相互交流・情報交換の場として、オンラインでの展示会を開催いたします。また、期間中の昼休みを利用してランチタイムオンラインセミナーを開催いたします。

【展示会】

展示会公開期間(予定) 8月23日(月)～2ヶ月

公開場所(予定) 年会HP

展示費用(予定) 1枠 50,000円(税別)

締切日(予定) 7月22日(木)

【ランチタイムオンラインセミナー】

開催形式 会議システム利用のオンラインセミナー

日時(予定) 9月22日(水)～24日(金) 12:10～12:50

開催費用(予定) 1枠 50,000円(税別)

締切日(予定) 8月31日(火)

【バナー広告】

公開場所 年会HP

掲載期間(予定) 5月～9月

掲載料金(予定) 1枠: 5月～9月 50,000円,
7月～9月 30,000円(いずれも税別)

問合せ・申込先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-4(友野本社ビル) (株)明報社(担当:後藤) [電話: 03-3546-1337, FAX: 03-3546-6306]

E-mail: info@meihosha.co.jp

【各種お問い合わせ先】

1. 学会事務局

会員登録情報の変更、会員ID・パスワード及び年会全般に関する質問

公益社団法人日本分析化学会事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304

E-mail: online@jsac.or.jp

電話: 03-3490-3351 (夜間, 土日, 祝日を除く)

2. 年会ヘルプデスク

講演申込などWebシステム、参加費納入に関する質問

第70年会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

(株)国際文献社内

E-mail: jsac-desk@bunken.co.jp

電話: 03-6824-9368

注) 電話対応時間は土日, 祝日を除く営業日の9時～12時, 13時～17時です。

3. 実行委員会

オンライン講演、プログラムに関する質問

第70年会実行委員会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学環境保全推進センター内

事務局長 牧 秀志

E-mail: maki@kobe-u.ac.jp